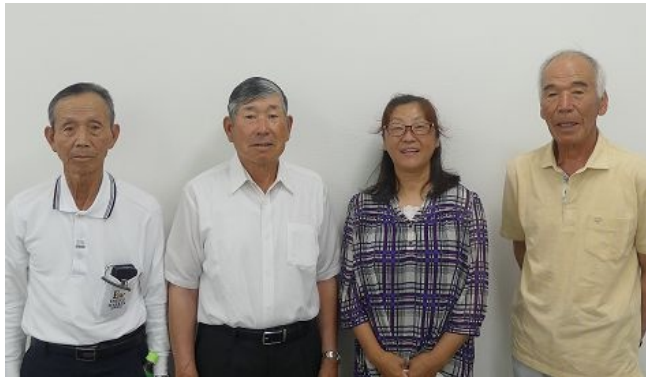


南相馬土地改良区 (福島県)

地域農業の継承とさらなる発展を目指して
令和6年3月、女性の理事が初就任



左から 牛渡副理事長、境理事長、荒理事、宝玉副理事長

組織の概要

面積 : 2,702.4ha
組合員 : 2,299人
理事 : 13人 (男性12人、女性1人)
監事 : 3人 (男性3人)

通常の理事 : 6選任区から11人、総代より候補者を
登用方法 選出している。

登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

令和5年11月19日 総代会 総代改選について
令和5年12月15日 選挙管理者会議 総代決定
令和6年1月24日 役員推薦会議 (理事候補者選任)
令和6年2月17日 臨時総代会にて選任
(理事の承認)
令和6年3月1日 理事就任
(任期: 令和6年3月~令和10年2月まで)

あらじゅんこ 荒淳子 理事



経歴

- JA農産物直売所 直売部会 会長 (H24~H28)
- JA女性部 副支部長 (R3~現在)
- 福島県農産物加工者連絡協議会 会長 (R6~)

理事になって思うこと

(男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど)
土地改良区については、ほ場整備を行っている所という程度で何も知識がなく、理事を務まるが大変不安でしたが、委員会や現地踏査に出席し、改めて農業にとって土地改良区が大切なことがわかりました。
今までの農業で培ったキャリアを活かし、女性の私なりに理事としての活動をしていきたいと思っています。

女性理事登用を進めるための秘訣(女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス)

男女共同参画とか、ジェンダーとか耳にしますが、あまり意識しなくても良いのではないのでしょうか。地域の中には元気に農業をしている女性がたくさんいます。その方々にも積極的に意見を聞き、一緒に地域のことを考える場があれば良いと思います。

荒さんが理事を引き受けるまで

事務局

※どのように説得したか。
今回の総代改選時に女性理事の登用を決め、各地区の理事が適任者を探していたところ、荒さんの推薦がありました。推薦して来た理事より荒さんに、是非にと協力をお願いした結果、快く引き受けていただきました。

荒理事

※引き受けた決め手。
同地区の理事に女性参画推進の説明とお声がけをいただきました。
また、共に水稲や野菜の栽培、切り餅や漬物などの6次化産業に取り組む主人にも後押しされて、就任を決意しました。

さかい かつあき 境勝明 理事長より

※女性理事登用を進めた動機やきっかけ。女性理事への期待。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

令和6年3月の役員改選で、念願の女性理事1名が誕生しました。切り餅等の6次化産品づくりで数々の実績を有する荒さんの知識と経験を、今度は土地改良区の更なる発展に活かしていただくことを心から期待しています。

事務局長より

※登用によって土地改良区に生じた変化。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

初の女性理事の就任は男女共同参画社会の新たなスタートと捉えており、荒理事には性差にとられない多様な視点からのご意見を賜りたく願います。今後、女性理事が就任しやすい環境整備にも努めて参ります。



前列左から二番目 猪俣理事、齋藤理事長、二列目左 唐司理事

組織の概要

面積：1,406ha
 組合員：1,014人
 理事：13人（女性員外2人）
 監事：3人
 職員：3人（うち女性1人）

通常の理事：各集落から候補者を選出している。
 登用方法

登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

令和4年3月22日 通常総代会にて定款変更（員外理事2名、員外監事1名設定）
 10月13日 選挙会にて無投票当選決定
 10月17日 臨時総代会にて報告
 11月6日 役員就任

いのまたきょうこ 猪俣今日子理事

経歴
 ・ 猪苗代町立翁島小学校PTA副会長
 ・ 福島県立会津工業高校PTA副会長
 ・ 農業従事17年目

理事になって思うこと
 大役という事は覚悟していましたが活動内容を知るほどに農業に従事していながら無知であったと痛感しました。同時に農業・農村の発展のために尽力したい気持ちが強くなりました。また、男女共に自ら能力を発揮し、多様な人材が活躍する事によってインクルージョン（多種多様な人を受け入れること）が実現すると思います。

女性理事登用を進めるための秘訣
 ・ 女性の仕事と生活・地域活動への意識改革が進んでいないと思う。
 ・ 日頃から、若い世代や女性に改良区が身近に感じてもらえる様なPRをする。

猪俣さんが理事を引き受けるまで

事務局 ※どのように説得したか。
 各地区に人選をお願いし、女性が参加する意義等を懇切丁寧に話し引き受けていただけました。

猪俣理事 ※引き受けた決め手。
 信頼できる現理事の方からのお声かけ。

さいとうぜんべい 齋藤善平 理事長より

令和4年11月の役員改選に於いて、土地改良区業務・運営において女性の考え、パワーが必要であると考慮選任させて頂きました。1名では女性の方が不安になると思います。2名の方をお願い致しました。また、これから他の理事の方々にも多くの影響があることを期待しております。

とうのすよしこ 唐司吉子理事

経歴
 高校教員として勤務し退職。家が兼業農家だったが離農。夫、義母との3人暮らし。土地改良区では編集委員に携わっている。

理事になって思うこと
 理事長様初め役員の皆様のおかげで安心して取り組んでいます。就任して1年半になりましたが、水田に円滑に用水を流すための用水路等施設の整備や維持管理をしていくためには、組合員の方々の協力があることと実感しています。まだまだ勉強不足な私は、皆様の考えに傾聴し、土地改良区の役割を理解し、課題解決に繋げていければと思います。

女性理事登用を進めるための秘訣
 農業関係者以外の方にも土地改良区の活動に関心を持ってもらいたいと思います。そのためには愛称「水土里ネット」をさらに普及させること、そしてそれが地域住民にとって身近な存在になることが女性理事登用の第一歩になるのではないかと思います。

唐司さんが理事を引き受けるまで

事務局 ※どのように説得したか。
 各地区に人選をお願いし、女性が参加する意義等を懇切丁寧に話し引き受けていただけました。

唐司理事 ※引き受けた決め手。
 員外理事のお話を頂き戸惑いましたが、員外としての見方や意見も必要だと熱心に言われ、心を動かされました。

事務局長より

当土地改良区の女性理事のお二人はとても明るく、優しい方で、会議の雰囲気も以前に比べ、柔らかい雰囲気になったと感じます。女性理事登用を進めるにあたり受け手を探すというのが最初にして最大のハードルだと思います。ターゲットを絞って声かけをしていただき、役割の内容を丁寧に説明していく事が大事かと思っています。